

貴方が「危険だ」と日頃感じる施設内の「危険個所」を例を基にご記入ください。（どこがどのような状態でどんな危険があるのかを具体的に記入ください）また、どのような対策が立てられているのか、どのような対策なら解決できるのかなどを具体的に記入してください。

※対策は、現施設では実現が難しい、現地点では実施が難し等の対策内容でも構いません。多彩な対策（案）をご記入ください。

※対策の説明の記載が難しい等の場合は写真を撮って当日ご持参して下さい。（写真内容は所属長の許可を必ずもらってください）

※記入欄が足りない場合は裏面をご活用ください。

※「施設内危険個所と対策」の記入数の指定はありませんので、1つでも構いません。

※当日**2枚印刷**（提出、自分用）をしてご持参してください。

施設名：

氏名：

### 施設内危険個所と対策（例）

	①どこが (どこで)	②どんな危険が どのような課題が	③どのような状態で	④どのような対策を
1	(例) 玄関設置のマット	・ 出入り時にマットの端に靴が引っかかり転倒の危険性がある。	・ マットが時々ずれている。	・ 滑り止め防止マットがめくれない、ずれないように固定をした。
2	(例) 2Fのトイレ	・ 手すりにつかまっても立つことができない人が多く、床にずり落ちている。 ・ 前のめりに転倒する人がいる。	・ 手すりが縦型だった。	・ 立つときに転倒しないよう手すりを横向け付け直した。 ・ 座った時にテーブルが出るようにした。 ・ ずり落ちてけがをしないように転倒が多い位置にクッションを置いた。
3	(例) 介助が必要な人が ナースコールを押さない。 (押すことが分からない)	・ 転倒の危険性がある。 ・ 認知症を持つ方の排泄の管理ができない。	歩行時に介助が必要なご利用者が、一人でベッドから降りてトイレに行く。	・ 歩き出したことが分かるように、布団に鈴をつけた ・ トイレのカーテンに鈴をつけてトイレに行ったことが分かる。
4	(例) 介助者の腰痛がある。	・ 腰痛の悪化。 ・ 休職により、業務が続けられず退職してしまう。 ・ 痛みによって支えられずご利用者の転倒転落が増える。	ご利用者の移乗移動に時間を要してしまう。	・ ノーリフト導入のための勉強会を開いた。 ・ リフター使用の検討をした。 ・ ポジショニングの共有をした。 ・ 介護ロボットを導入したい。